

# 令和7年度和泉市 交換学生派遣事業報告書

2025年8月7日～8月17日



和泉市教育委員会

# 目 次

メンバー紹介	1
スケジュール	2~6

## 交換学生の体験記



北野 裕貴	海と言葉を超える世界	7・8
植野 瑞月	10日間で感じた人の優しさ	9・10
杉浦 斗真	交換学生派遣で学んだこと	11・12
藤原えるな	大切な思い出	13・14
小田恭大朗	ブルーミントン市で学んだこと	15・16
亀山 歩楓	ブルーミントン市での学びや気づき	17・18
橋本 一花	一生の思い出	19・20
平井 琉愛	慣れない言語でのコミュニケーション	21・22
福重龍之祐	ブルーミントン市派遣の報告	23・24
村上 優芽	ブルーミントン市で感じたこと	25・26

## メンバー紹介



北野 裕貴  
YUKI KITANO  
和泉中学校



植野 瑞月  
MIZUKI UENO  
北池田中学校



杉浦 斗真  
TOMA SUGIURA  
南松尾はつが野学園



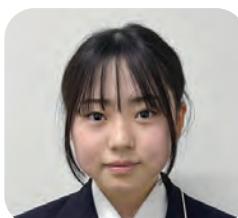
藤原えるな  
ELNA FUJIWARA  
清教学園中学校



小田恭大朗  
KYOTARO KODA  
光明台中学校



亀山 歩楓  
HONOKA KAMEYAMA  
富秋中学校



橋本 一花  
ICHIIKA HASHIMOTO  
楳尾学園



平井 琉愛  
LUNA HIRAI  
石尾中学校



福重 龍之祐  
RYUNOSUKE FUKUSHIGE  
大阪立命館中学校



村上 優芽  
YUME MURAKAMI  
北池田中学校



遠藤 幸  
YUKIE ENDO  
随行・信太中学校教諭



泉谷 亮輔  
RYOSUKE IZUTANI  
随行・和泉市生涯学習推進室

# スケジュール

月 日	内 容 等
8月 7日 (木)	<p>関西国際空港集合 関西国際空港出発 NH96便 羽田空港到着 羽田空港出発 DL120便</p> <p>ミネアポリス・セントポール国際空港到着 ホストファミリーと対面、解散</p>   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>空港でホストファミリーやブルーミントン市姉妹都市委員会のみなさんが温かくお出迎えしてくれました。</p> </div>
8月 8日 (金)	<p>●市役所、消防署、警察署など見学</p>    <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>派遣前から時間をかけて準備したプレゼンテーション。発表までドキドキでしたが、堂々とした発表ができ大成功でした。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>市役所内にある、ローカルテレビの本格的な撮影スタジオに興味津々の様子でした。</p> </div>   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>普段見ることのない、警察署や消防署の中をツアーリングもらいたくさんことを学びました。</p> </div>

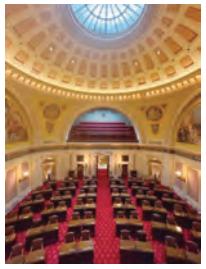
## スケジュール

月 日	内 容 等
8月 9日 (土)	<p>●ホストファミリーと過ごす</p>
8月 10日 (日)	<p>●コミュニティピクニック</p>    <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>BSCO（ブルーミントン姉妹都市委員会）が主催のコミュニティピクニックに参加しました。ホストファミリーをはじめ、現地の方々と広く交流することができました。</p> </div>
8月 11日 (月)	<p>●ノーマンデール・コミュニティ・カレッジ、日本庭園訪問</p>     <p>●ジェファーソン高校訪問</p>     <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>ブルーミントン市の学校の大きさや違い、設備に興味津々の様子でした。</p> </div> <p>●コモ動物園、温室庭園など訪問</p>   

## スケジュール

月　日	内　容　等
8月 12日 (火)	<p>●シャコピー市へ The Landing (歴史的建造物が複数建っている野外施設) 見学</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           19世紀の、現地の方々の暮らしについて学びました。         </div> <p>●Valley Fair (アミューズメントパーク)</p> 
8月 13日 (水)	<p>●センテニアル湖 散策 (ボートなど)</p>  <p>●モールオブアメリカで自由時間 (ニコロデオン・ユニバースなど) ●全員で夕食 (モールオブアメリカ内)</p> 

# スケジュール

月 日	内 容 等
8月 14日 (木)	<p>●ミネハハ滝散策</p>    <p>●州議事堂見学</p>     <p>●ミネソタヒストリーセンター見学</p>   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           ミネソタの歴史について学びました。         </div>
8月 15日 (金)	<p>●スカルプチャー・ガーデン散策</p>    <p>●ストーンアーチブリッジ散策</p>    <p>●ミネアポリス美術館見学 ●フェアウェルBBQ</p>   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           BSCO（ブルーミントン姉妹都市委員会）やホストファミリー、現地の方々と最後の夕食を一緒に食べ、たくさんの人と交流しました。         </div>

## スケジュール

月　日	内　容　等
8月 16日 (土)	ミネアポリス・セントポール国際空港出発 DL121便  日付変更線通過
8月 17日 (日)	羽田空港到着 羽田空港出発 ANA97便 関西国際空港到着・解散



出発の日。10日間共に過ごしたホストファミリーチたと、別れを惜しみながら出発しました。短い期間でしたが、多くの人から温かいおもてなしと歓迎を受け、様々な体験ができた貴重な10日間となりました。

# 海と言葉を超えて、広がる世界

北野 裕貴  
YUKI KITANO

私は、令和7年度の和泉市交換学生としてミネソタ州ブルーミントン市を訪問させていただきました。まず、この事業に参加できたことに深く感謝申し上げます。ここでは、学んだことや感じたことを報告します。

私がこの10日間で学んだことの中で、特に心に残ったことは3つあります。1つ目は、英語を使う上での人との向き合い方です。アメリカに行く前は、英語の文法や発音が完璧なものでないと伝わらないと思い、話すことに消極的になっていました。しかし、話さなければ自分のことを相手にわかってもらえないし、相手のことを知ることもできません。滞在中、完璧な文法ではないですが英語を用いて色々な人とたくさん話しました。三単現の“s”や“a/an”が抜けることなんて頻繁にありました。それでも英語を使って話し続けた結果、日に日に仲良くなって、帰国後も交流をとり続けるほどのお友達がたくさんでき、とても嬉しかったです。英語を話すことへの苦手意識もなくなり、英語が伝わらなくとも、ジェスチャーを使ったり、写真を見せたりすれば伝わると学びました。英語はあくまでコミュニケーションの一つであって、大事なことは完璧な英語を話すことよりも、最善を尽くして相手に自分の思いを伝えることだと学びました。

2つ目は、行動することの大切さです。きっかけは小さなことでもいいから自分から話しかける機会をつくることが大切だと思いました。例えば、「Your nail is so cute! I love it!」（そのネイルとても可愛いね！）など、受け身になって相手が話してくれるのを待つよりも、まずは自分が相手に興味をもって積極的に交流することが大事だと思いました。そうすれば、必然的に相手も自分に興味を持って話しかけてくれ、話す機会がどんどん増えていきました。やる前に決める（否定する）ではなくて、やってから決める、まずはトライしてみることは自分の経験の1つになるし、せっかくのチャンスは無駄にせずに掴むことの大切さを改めて感じました。



3つ目は、自分の思いをはっきり伝えることです。日本では人の気持ちを察する、察してもらう場面が多々あると思いますが、アメリカではそれがほとんどなく、自分の意見を言わなければ相手には伝わらないことを日々痛感しました。また、曖昧に答えることは好まれなく、yesかnoで答えるという場面がとても多かったです。だから、分からぬことは分からぬままではなく、素直に聞くことが大事だと思いました。分からぬことやそれを相手に聞き返すことは、全く恥ずかしいことではないと学びました。



派遣期間中に思い出に残っていることは、ホストファミリーと過ごした時間と姉妹都市委員会の方のお家でのBBQです。ホストファミリーとは、湖やショッピングに行ったり、映画を観たり、ご飯と一緒に食べるなど毎日充実した時間を共にしました。また、日本（和泉市）のこと、私や家族のこと、相手方のことやブルーミントン市のことについてたくさん話をして、常にコミュニケーションをとっていました。私にとって初めての海外だったのですが、ホストファミリーのみなさんが温かく私を迎えてくれて本当に嬉しかったですし、不安な気持ちはすぐになくなりました。特別な場所に遊びに行かなくても家と一緒に過ごす毎日が、本当に楽しくて大好きでした。私の初のホストファミリーがこの方たちで良かったと心から思います。

BBQは、過ごした日々の中でも私のお気に入りの時間です。このBBQは、私の中で現地の方と1番深く交流できた時間だったと思います。みんなでご飯を食べながら色々なお話をしたり、ゲームをしたり、お互いの国でよく使うフレーズを教え合いました。3-4時間が一瞬で過ぎるほどとても濃い時間を過ごせました。

派遣期間中に驚いたことは、ブルーミントン市の皆さんのがフレンドリーなところです。店員さんやすれ違う人、初めて会った人にも当たり前のように軽い挨拶を交わしていました。ホストファミリーにこのことについて尋ねてみると、人と人の繋がりを大切にしているからだそうです。日本にもこのような文化が広がれば、より素敵な社会になると思いました。

この10日間は、私にとって言葉に表しきれないほどの新しい経験と価値観、大切なことを日々実感させてくれました。私はこの経験によって、海外の長期留学への思いがより一層強くなりました。次、海外に行ったときは、自分が異文化を学ぶだけではなく、今回のように日本・和泉市の魅力を（自ら）伝えていこうと思います。私を通して、少しでも日本と海外の繋がりが強くなればいいなと思いました。

最後に、この素晴らしい機会をくださり、協力してくれた関係者の皆様、ブルーミントン市の方々、本当にありがとうございました。また、2人の随行者の方と9人の一緒に頑張った仲間たちも本当にありがとうございました。この素敵なメンバーとアメリカに行くことができて、本当に良かったです。一生忘れられない思い出になりました。

これからも姉妹都市の交流事業に積極的に参加していこうと思います。改めて、本当に素敵な体験をありがとうございました。



# 10日間で感じた人の優しさ

植野 瑞月

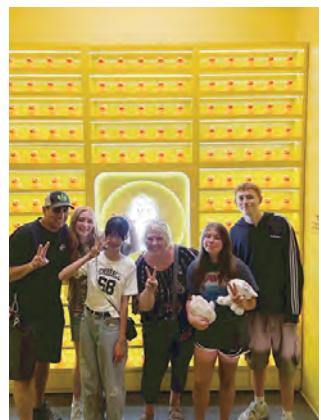
MIZUKI UENO

私は10日間、ミネソタ州のブルーミントン市で過ごし、普通ではできない貴重な経験をする事が出来ました。

初日にブルーミントン市役所で、議員さんや地域の方々を前に和泉市の魅力についての発表をしました。緊張しましたが、私達の話を笑顔で聞いてくださって、本当に嬉しかったです。この発表の為に、事前に和泉市についてたくさん調べ、スライドや英語の文章の準備をしたり、何回も読む練習をした事も、とても良い経験になったと思います。

私が1番印象に残っている事は、私のホストファミリーの家に、派遣学生のメンバーと、そのホストファミリーたちが集まって過ごした時のことです。みんなでバドミントン、バレーボール、バスケットボールやマリオカートをしました。試合をして点数が入ったり、良いプレーをした時に、ハイタッチをして喜び合い、とても盛り上りました。スポーツと一緒にすることで、もっとみんなと仲良くなれた気がします。ゲームやスポーツは全世界に共通するものなので、言葉や文化が違っても仲良くなれる一つの方法だと思いました。スポーツやゲームの力は改めてすごいなと思いました。

ホストファミリーと過ごした日常も楽しかった思い出です。字幕なしで英語で映画を観たり、ゲームや折り紙をしました。兄弟喧嘩をしたり、壁に身長の成長記録を書いているのが自分の家と一緒に、親近感がわきました。私の身長も同じ壁に刻んでもらって、家族の一員になれた気がして、嬉しかったです。



ブルーミントン市の1番の魅力は、たくさんの自然があることだと感じました。ブルーミントン市のあるミネソタ州は、一万の湖の地として知られています。私は人生で初めて、湖でチュービングをしました。チュービングとは大きい浮き輪に乗ってボートに引っ張られる遊びです。とても風が強く、波に乗るのが気持ちよかったです。その日の昼食にホストマザーが作ってくれた、アメリカの伝統的なピーナッツバターといちごジャムのサンドイッチは、とても美味しかったです。

また、他の日にはホストファミリーに自転車を借りて湖がある公園に行きました。そこに野生の鹿やリス、ウサギ、コウモリがいて、驚きました。他にも、ミネハハ滝やセンテニアル湖など、美しい自然が身近にたくさんあり、とても癒されました。



一方、ブルーミントン市には都会らしさもあります。ホストファミリーが車で綺麗な夜景が見れる場所に連れて行ってくれました。建物が大きく、映画に出てくるようなかわいい家や教会が並んでいました。日本と違った世界に入り込んで冒険をしているようでワクワクしました。

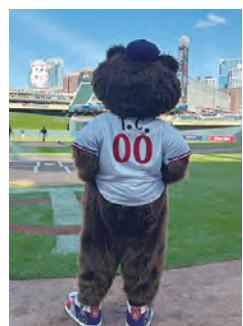
セントポール大聖堂はとても静かで美しくて、モールオブアメリカにはショッピングモールや遊園地もあり、色々な面があるなと思いました。ブルーミントン市には自然もあり、都会らしさもあり、とっても住みやすい街だと実感しました。

そして、ブルーミントン市の地域の繋がりの深さも感じました。ホストファミリーが近所の人と出会った時は、仲良さそうに世間話をしていたり、ハンバーガー屋さんではお店の人が「美味しかった？」と聞いてくれて気さくに声をかけてもらえたのはとても嬉しかったです。コミュニティピクニックやバーベキューでもフレンドリーに声をかけてくれた人がたくさんいて、友達を作ることができて嬉しかったです。また、住宅地に住んでいる人が誰でも使える、プールやテニスコートがあって驚きました。このように地域の関わりが深く、自然とコミュニケーションをとる文化があることはとても素晴らしい事だなと思いました。

滞在中、私がうまく英語を話せなくても、現地の方々が理解しようしてくれたり、私に話してくれる時は、簡単な表現でゆっくり話してくれたので、怖がらずにコミュニケーションをとることができました。ホストファミリーとお互いの国の人気なものや文化の違いを教え合い、アメリカの事を沢山知ることができました。この滞在で、違う国の人自分から話しかけたり、会話を広げる工夫ができるようになったと思います。

私はこの交換学生派遣事業に参加することができ、本当に感謝しています。ブルーミントン市に行き、たくさんの人の良さに触れることができました。アメリカは遠くて全く違う世界だと思っていたけど、日本との共通点や人の温かさを感じ、アメリカのイメージがとても変わりました。

また、この10人の派遣学生のメンバーと出会えたことで、色々な考え方を聞くことができとても良い刺激をもらいました。一緒にたくさんの思い出を作って、色々なことを学べた事を嬉しく思います。そして、何より大好きなホストファミリーに出会うことができ、感謝しています。この経験を通して、もっと色々な国の人たちとの交流を積極的にしたいと思いました。また、アメリカで経験したことを日本のみんなに伝えていきたいです。次はもっと英語を上達させて、ブルーミントン市に戻りたいと思います。  
本当にありがとうございました。



# 交換学生派遣で学んだこと

杉浦 斗真

TOMA SUGIURA

僕はこの夏、令和7年度和泉市交換学生の一員として、姉妹都市であるブルーミントン市に10日間派遣していただきました。この10日間は、僕にとって一生忘れられない経験になりました。市役所や州会議事堂、ジェファーソン高校、ミネハハ滝、センテニアル湖など多くの場所を訪れ、アメリカの歴史や文化、自然にふれることができました。また、普段の生活では学べない、英語でのコミュニケーションや、日本とは異なるアメリカの習慣についても学ぶことができました。その中で特に印象に残ったことが2つあります。

一つ目は、現地の「人との関わり」です。僕は野鳥観察が趣味で、ホストファミリーが一周3.35マイルもあるクリスタル湖に連れて行ってくれました。そこでは、ランニングをしている人がすれ違うときに「Nice work!!」と声をかけていました。また、散歩をしている人も自然に「Hello!」や「Hi!」とあいさつしていました。日本では、知らない人に声をかけることはあまりないので、とても新鮮に感じました。野鳥観察をしていた時には、大きなカメラを持った女性が「What did you watch?」と声をかけてくれました。僕はとっさに「I watched Bald Eagle, Black-chinned Hummingbird and Wood Duck!」と答えると、「Oh, that's nice!」と笑顔で返してくれました。初めて会った人でも気さくに話しかけてくれて、英語が得意でない僕でも安心して会話ができ、とても嬉しかったです。ブルーミントンの人たちのフレンドリーさにふれて、あいさつや一言の言葉が人の気持ちをあたたかくすることを実感しました。



二つ目は、「自然の豊かさ」です。僕はホストファミリーに、前から行きたいと思っていたナインマイルクリークに連れて行ってもらいました。調べている中で「ナインマイルクリーク再生プロジェクト」という活動があることを知り、地域の人が協力して自然を守っていることに興味を持っていました。実際に訪れてみると、川の水は透き通るほどきれいで、道のすみにもゴミが一つも落ちていませんでした。そこでは、ルリノジコやハクトウワシ、オオアオサギなどの野鳥を見ることができました。特にルリノジコに出会った時は、心が躍って大興奮しました！さらに、川に入って遊んだり、野鳥観察をしたりした時間も、とても楽しく、本当にうれしい体験でした。そこには僕が理想とする「身近な自然との関わり方」がありました。姉妹都市で学んだことが、和泉市の自然を守るヒントにつながればいいなと思います。



さらに、ホストファミリーに連れて行ってもらったミネソタ・ラプターセンターの見学も印象に残っています。ここはケガをしたタカやワシ、フクロウなどを保護し、治療して自然に帰す活動をしている施設です。ミネソタでは野生のハクトウワシを観察することができ、その雄大な姿に心が躍りました。しかし、施設で保護されているハクトウワシを見たときは胸が痛みました。また大自然の大空に戻って欲しいと思いました。そして、ただ見せるために飼育しているのではなく、命を守るために多くの人が関わっていることがとても心に残りました。日本でも猛禽類の保護施設を訪れたことがあります、国が違っても「命を救いたい」という気持ちに違いはなく、自然や生き物を守る活動はここでも大切にされているのだと感じました。これらの経験は、ナインマイルクリークで感じた自然の豊かさともつながり、僕自身、身近な自然をもっと大切にしたいと思うきっかけになりました。

僕は普段、近所の松尾寺公園という里山で野鳥観察をしています。ナインマイルクリークのように地域で協力して自然を大切にする活動が広がれば、松尾寺公園ももっと大切にしたい場所になると思います。今ある自然を守りながら楽しめる公園であってほしいです。自然を守り楽しむことは、人々の生活を豊かにし、未来にもつながると感じました。

今回の交換学生としての派遣は、僕にとって大きな学びになりました。ブルーミントン市で出会った人々のやさしさやフレンドリーさ、そして自然を大切にしながら楽しむ姿は、これから僕の生活にも大きな影響を与えると思います。この経験を通して学んだことを、友だちや家族、地域の人たちに伝えていけたらと思います。

最後に、この派遣事業を支えてくださった市の方々や先生方、そして多くの関係者の皆さんに心から感謝します。たくさんの人の支えがあったからこそ、安心して挑戦し、多くの学びを得ることができました。また、ブルーミントン市、そしてホストファミリーの皆さんにも心から感謝します。温かく迎えていただいたおかげで、充実した日々を過ごすことができました。

本当にありがとうございました。



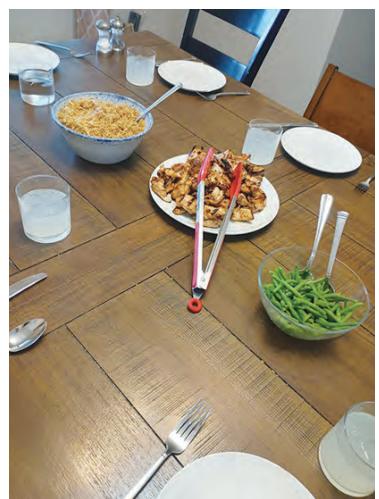
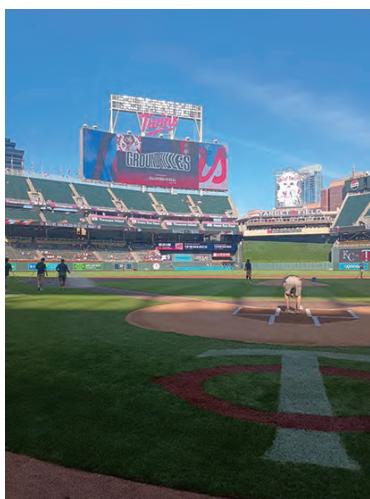
# 大切な思い出

藤原 えるな  
ELNA FUJIWARA

私は、8月7日から8月16日までの間、アメリカのブルーミントン市に滞在しました。海外へ家族なしで一人で行くことも、長時間のフライトも初めてであったため、出発前は非常に緊張していました。しかし、一緒に行った仲間や引率の先生、市役所の方々が温かく支えてくださり、いつの間にかその不安も和らいでいました。

滞在中は、警察署や消防署、歴史館、美術館など、ブルーミントン市について深く学べる場所を訪れました。特に印象に残っているのは、全米最大級のショッピングモール「モール・オブ・アメリカ」です。3日間に分けて訪れましたが、とても広大で回りきれないほどでした。館内にあるほぼ直角のジェットコースターに乗ったことも、忘れられない思い出の一つです。大きなスケールと迫力に驚き、アメリカならではの文化を体感することができました。このように毎日が充実しており、交換学生としてブルーミントン市に来れたことがとても嬉しかったです。

約10日間のホームステイも、私にとって大変貴重な経験でした。ホストファミリーは、ミネアポリス空港で、英語で「welcome ELNA」、日本語で「あなたがここに来てくて嬉しいです」と書かれたウェルカムボードを持って出迎えてくださいました。不安でいっぱいだった私にとって、その言葉は魔法のように心を明るくしてくれるものでした。



中でも特に印象的だったのは、ホストファザーが野球場の維持管理をされていたことから、実際に球場の中へ入ることができた経験です。人生できっともう無い体験に、大変感動しました。また、毎日の食事はすべてホストマザーの手作りで、ジュースまでもが家庭の味でした。特に印象に残っている料理は、ホストグランドマザーが育てた鶏を調理して食べさせてくださったことです。味付けも日本にはないような独特のもので、とても美味しく、忘れられない体験になりました。さらに、ホストシスターとホストブラザーが二人で作ってくれたレモン風味のケーキも一緒に食べました。甘いコーティングが施された爽やかな味わいで、家族の温かさを感じながらいただけたことが、素敵な思い出となっています。私は食べるの好きで何でも美味しいいただいたため、ホストマザーから「イージー



チャイルド（育てやすい子）」と言っていただけたのも嬉しい経験です。

最も辛かったのは最終日のお別れでした。空港へ向かう車の中で涙が止まらず、日本にいるときには想像できないほど強くホストファミリーに心を寄せていた自分に気づかされました。この経験を通じて、家族の大切さを改めて実感しました。

さらに、ブルーミントン市の方々の優しさにも深く感銘を受けました。お店の方も、街を歩く人も、子どもからご高齢の方まで、誰もが自然に笑顔で挨拶をしてくださいます。私は普段、意識しなければ笑顔を作ることが難しいのですが、ブルーミントンの皆さんは当たり前のように笑顔を向けてくださいました。その笑顔は、相手を幸せな気持ちにする力を持っていました。だから私も人を温かい気持ちにできる笑顔を身につけたいと強く思いました。

この10日間で学んだことは数えきれないほどあります。人の関わりの中で得られた気づきは、これから的人生においても大きな支えになると思います。特に、ホストファミリーの姿からは「家族の絆の大切さ」、ブルーミントン市の方々のふるまいからは「思いやりと笑顔の力」を学びました。私のお母さんがこの派遣事業を通して今、英語の先生になったように、私も今回の経験を自分の将来に結びつけていきたいと思います。進路や生き方を考える上で、この事業で得た学びを必ず活かしていこうと強く思いました。

私は今回この事業で、忘れたくないホストファミリー、忘れたくない日本から引率で来てくださった大人たち、そして今回このプロジェクトで友達になれた派遣学生など、人間関係も深く、広く作れたのではないかと思います。この学びや気づきを今後の世代に繋げていく1人として活動していきたいと思います。改めて今回このような貴重な経験をさせてくれた皆様本当にありがとうございました。



# ブルーミントン市で学んだこと

小田 恭大朗  
KYOTARO KODA

僕は8月7日から8月16日までの10日間、和泉市とブルーミントン市の交換学生として、ミネソタ州のブルーミントン市に行きました。僕はこの交換学生派遣事業を通して、ブルーミントンでたくさんのこと学ぶことができました。

この派遣事業では、市役所や警察署などの施設の訪問、コミュニティピクニック、湖を散策してボートに乗るなど、日本ではできないような様々な体験をすることができました。また、僕たちはブルーミントン市役所で派遣の前からみんなで準備をしてきたプレゼンテーションを披露しました。市長や他にもたくさんの方の前で発表したのでとても緊張したけど、うまくいったので嬉しかったです。このプレゼンテーションは、和泉市のことについてたくさん知ってもらえるとてもいい機会になったと思います。

僕がブルーミントン市での10日間で、特に印象に残ったことは、2つあります。

1つ目は、ブルーミントンの方たちとの交流です。僕ははじめ、全く知らない環境での生活や、うまく英語でコミュニケーションが取れるのか、とても不安に思っていましたが、ミネアポリス空港についてホストファミリーや市の方々が温かく受け入れてくれたときには現地の方たちの優しさを感じました。その後の活動でも、多くの方たちが支えてくれたおかげで、安心して参加することができました。



また、ホストファミリーと過ごした時間は、とても貴重な経験になりました。普段の会話など、英語でのやり取りの中で、完璧に英語を理解できないことや、うまく英語で気持ちを伝えられないことがありました。その度にホストファミリーが丁寧に教えてくれました。滞在中はホストファミリーと一緒に、バスケットボールの試合を観に行ったり、キャンディストアやスーパーマーケットで買い物をしたり、ハイキングに行って滝を見たりしました。ホストファミリーと過ごす時間の中で仲も深まり、たくさんの思い出ができました。

2つ目は、日本と文化の違いや自然の広大さです。

僕は、アメリカでの生活の中で、日本との文化の違いをたくさん感じました。その中で



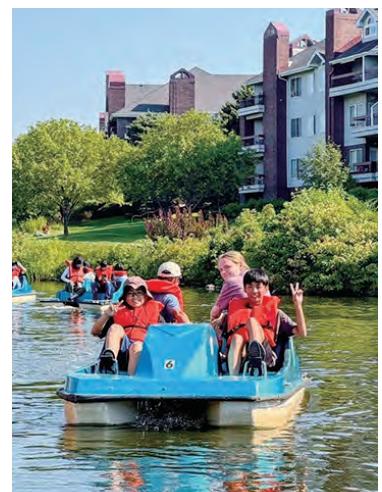
も特に印象に残ったのは、人々のコミュニケーションの仕方です。ブルーミントンの方たちはみんなとてもフレンドリーで、初対面の人や店員の人に話しかけたりするのを見て、日本との違いを感じました。また、コミュニティピクニックや日々の活動の中で、たくさんの方が話しかけてくれ、交流を深めることができました。その他にも、車が右側通行であることや、食文化や服装の違いなど、生活の中で様々な違いを感じることができました。

さらに、滞在中にはミネハハ滝を散策したり、センテンニアル湖でボートに乗ったりすることができ、自然の豊かさを感じることができました。また、街の中にも緑が多く、ブルーミントンでは、たくさんの自然と触れ合うことができました。

こうした文化や自然を実際に触ることは、新しいことを知る機会となり、とても貴重な経験になりました。

今回の派遣事業を通して、現地の方たちの優しさやアメリカの文化・自然を感じ、たくさんのこと学ぶことができました。また、滞在中には多くのことにチャレンジすることができます。この経験を、今後の学習や生活に活かしていきたいです。そして、今回の学びを忘れずに、これからも和泉市とブルーミントン市の国際交流や、英語の学習などにも前向きに取り組んでいきたいです。

最後に、このような素晴らしい経験をできたのは、この派遣事業を計画・進行してくださった和泉市、ブルーミントン市の関係者の方や、僕たちを温かく受け入れてくれたホストファミリーや現地の方、この事業のための費用を寄付してくださった方など、たくさんの方々の支えのおかげです。本当にありがとうございました。



# ブルーミントン市での学びや気づき

亀山 歩楓

HONOKA KAMEYAMA

私は8月7日から8月16日までの10日間、アメリカのミネソタ州ブルーミントン市へ行きました。そこで過ごした仲間との思い出や経験は、夢のようなものだったように思います。そして、私がブルーミントン市へ行ってみて、何を学んだのか、何を感じたのかを報告しようと思います。

まず、私がとても学んだことがあります。それは「自己主張の大切さ」です。この「自己主張」というものが私の得意なことで、短所な部分だったように感じます。これから的人生、人とは出会いがあれば別れがあり、時にはぶつかり、時には助け合い…生きている中で人と関わるということは避けようと思っても避けられません。だからこそ自分から歩み寄るような行動をしていかないといけないと思います。私が実際にブルーミントン市へ行ったとき、食事や間食などをなかなか食べることが出来ず、昼と夜の寒暖差も思っていた以上にあり、思い描いていた理想とのギャップがありました。そんな中、自己主張が欠けていたことで自分の気持ちを相手に打ち明けられず、非常に悔しい経験をしました。だからこそ、自分が今相手に対してどう思っているのか、自分は今何をしたいのか、そういうことをきちんと伝えることが本当に大切だと感じました。また、私の身近にいる家族や、友人、クラスの仲間や学年の仲間、先生…私はいろんな人に支えられているんだなと感じました。

そんな私にも自己主張ができた瞬間がありました。私は幼い頃、ピアノを習っていました。とはいっても、楽譜は読めないですが、今も趣味として自分なりの表現でピアノを弾いています。私がストーンアーチブリッジへ行った際、1台のストリートピアノがありました。そこで私は自分の弾きたいようにピアノを弾きました。あの場所での、あの経験は私を勇気づけてくれました。また、私のホストファミリーのお父さんはミュージシャンでTodd' n' tinaというコンビで子供向けの音楽を制作しています。そんなお父さんと一緒にピアノやギター、ドラムでセッションできたこともとても素敵な経験になりました。



そして、私は和泉市の代表として派遣されました。その自覚を持ち、この事業に臨まないといけないと感じた瞬間がありました。また、私たちがブルーミントン市へ行くことができたのは、色々な方の援助があったからだと思います。本当にありがとうございます。

次に、私が学んだことは「アメリカと日本の文化の違い」です。私が現地に到着してからというのも束の間で、その日の夕方からいきなりアルティメットフリスビーをして体を



動かしました。私のホストファミリーの方は、それを週に1回のペースでやっているそうで、しかもホストファミリーの兄弟や、ホストファミリーの友達など色々な方を巻き込んだ大人数でアルティメットフリスビーを楽しみました。私は一人っ子で、親戚や友達で集まることも少なく、大人数で何かをするということをあまりしたことがありませんでした。なので、この経験は私にとって、すごく新鮮なものでした。また、日本で走行されている車のほとんどが右ハンドルですが、アメリカで走行されている車は左ハンドルという海外ならではの光景を見ることができました。車社会というのもあってか、常に道路には車がたくさん走行されていました。そして、私がアメリカのマクドナルドへ行った時です。ジュースのサイズがスター・バックスのベンティサイズと同じくらい大きくて、やっぱり大量生産、大量消費だと感じました。また、それをホストファミリーのお父さんが3杯くらい飲むのでとても驚きました。とてもびっくりしたことで言えば、日本のマックナゲットよりもアメリカのマックナゲットの方が揚げたてホヤホヤで、衣がカリカリで美味しかったということです！

そして、肝心のブルーミントン市役所内の議場で行った日本や和泉市の魅力を伝えるプレゼンテーションは、私からすれば花丸大成功だったと思っています。これは個人的な話になりますが、私がプレゼンテーションの練習をする時やその本番を行う時は、あまりジェスチャーをつけたり、表情を豊かにして行なうことが少なかったように思っています。しかし、今回のプレゼンテーションでは、「楽しく、そして見てくださっている方々に対して伝えるように」という意識がありました。もちろん、とても緊張しました。ですが、その場の雰囲気や自分が意識したことを生かして実施したプレゼンテーションは今までの中でも一番良かったと本当に感じています。実際、私のプレゼンテーションのタイムも短くなつており、そのくらいテキパキと、そして英語をスラスラと話せていたのだと感じます。本当に嬉しかったです。

色々な景色を見たり、色々な経験をさせてもらった今回のこの派遣事業は私にとってかけがえのないものになりました。私はこの事業を通して、国際交流は相手を理解する力や自分を発信する力を培えると感じました。また、英語をもっと勉強して、よりコミュニケーションが出来るようになりたいと思いました。今後もブルーミントン市から和泉市へ来てくださる方々との交流など積極的に参加できたらいいなと思っています。将来は国際交流、英語に興味を持ち、それらをどんな形であれ、生かせることができたらいいなと思います。



# 一生の思い出

橋本 一花

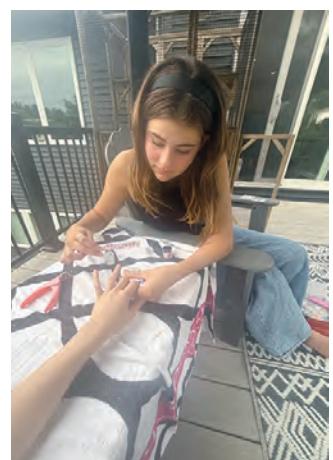
ICHIIKA HASHIMOTO

私たちは夏休みの間10日間アメリカのブルーミントン市へ行きました。初のアメリカ、初のホームステイで不安や緊張はあったけど、なにより楽しみという気持ちが多く、飛行機の中ではアメリカに着くのがとても待ち遠しかったです。ようやく楽しみにしていたアメリカに到着しました！ついにホストファミリーとの対面。少し緊張はあったものの、フレンドリーな方達で、すぐに家族のように接してくれたのを覚えています。

アメリカでの生活は、毎日がとっても楽しく、初めての経験を沢山させてもらいました！私が特に印象に残っているものを紹介します。1つ目は和泉市についてのプレゼンテーションです。何度も練習し、改善してみんなで作りあげた、プレゼンテーション。絶対成功させたいという思いを持って挑みました。緊張と楽しみという感情がごっちゃになって、少しドキドキしていたけれど、みんなで堂々と一生懸命プレゼンテーションを終わらすことができ、私の中では最高なプレゼンテーションをすることができたと思います。

また市長さんや、ホストファミリーの方々が真剣に私たちのプレゼンテーションを聞いてくれて、とても嬉しかったです。滅多にできない体験をさせてもらうことができ私の大事な思い出となりました。

2つ目はブルーミントン市の自然についてです。道路には野生の鹿や、うさぎなど日本ではあまり見かけない動物を町中で見かけることが多く、また大きな木が沢山生えており、都会でもあるけど自然が豊かで、トカイナカの和泉市と似ているなど感じました。



3つ目は、最終日のBBQです。10日間いろんな思い出と一緒に作り、私たちのためにたくさんサポートしてくれたホストファミリーと、仲間達と最後のパーティーを行いました。ここではみんないつの間にか打ち解けており、一緒にゲームをしたり、スラングについて話し合ったり、一緒に写真を撮ったりしました。アメリカ最後なんだと悲しい気持ちも少しあり、この瞬間を絶対に噛み締めておこうと思いながら、ホストファミリーや仲間とたくさん話して笑いあい、最高な3時間を過ごしました。



滞在中に私が気づいたことは、アメリカ人の優しさについてです。自分から何も言わずみんなが通りやすいようにドアを開けたり、私たちに分かりやすいようにゆっくり話してくれたり、服かわいいねとか笑顔がいいねなど沢山相手のことをほめたり、コミュニケーションだけではなく、人を自然と笑顔にさせる力があると思いました。10日間安全で楽しく過ごせたのはホストファミリーの方達のおかげです。

日本から離れ、不安や緊張があった反面、日本ではできない一生に一度の経験をさせてもらい、最初は小さかった自分の世界が一気に広がりました。チャレンジすることや、異文化の理解、コミュニケーション能力の大切さなどに気づくことができ、普段は学べないことについてたくさん知り、経験することが出来たと感じています。そして、ここで得たものをこの時だけで終わらせるのではなく、和泉市のため、世界のために役立てていきたいと思います。このような機会を作ってくれた、姉妹都市委員会の方々や協力してくれた和泉市の方々、最高な思い出と一緒に作った仲間達本当にありがとうございました。



# 慣れない言語でのコミュニケーション

平井 瑞愛

LUNA HIRAI

私は、和泉市の交換学生として、アメリカのミネソタ州にあるブルーミントン市を訪れました。慣れない環境での生活や、言語をはじめとする文化の違いに大きな不安を抱えながら日本を出発しました。しかし、空港に到着するとホストファミリーが温かく迎えてくれて、緊張するのと同時に高揚感が高まってきました。実際、日常生活の中で日本との違いに驚くことが多々ありましたが、今まで知らなかったアメリカの文化などを知れる喜びを感じました。滞在中は、警察署や消防署、大学を見学したり、動物園や美術館、バーレフェアというテーマパーク、モールオブアメリカという全米最大のショッピングモールに行ったりと、さまざまな体験をしました。その中でも特に印象に残ったことは3つあります。

1つ目は、英語で和泉市のプレゼンテーションを行ったことです。これまでたくさん時間かけて話し合いを重ね、何度も練習して準備をしてきました。英語でプレゼンテーションをすることは初めてだったので本番はとても緊張しましたが、自分の力を出し切って最高のプレゼンテーションができたと思います。発表の後には「とても良かったよ」と声をかけてくださる方がたくさんいて、頑張って本当に良かった！と思いました。



2つ目は、ホストファミリーと1日中ゆったりと過ごした2日間です。1日目は、モールオブアメリカでショッピングやアトラクションを楽しみ、2日目はファーマーズマーケットや公園に行きました。ホストファミリーは日本語も話せて、お互いに日本語と英語を使ってコミュニケーションをとりました。アメリカやブルーミントンに関する様々なことを教えてくれました。次は、ホストファミリーが日本に来て、私が日本のこと紹介することを約束しました。これからも繋がりを持ち続けたいとお互いに思える家族と会えたことが嬉しいです。

3つ目は、最終日にブルーミントン市姉妹都市委員会の方のお家でお別れBBQをしたことです。各家庭のホストファミリーも参加していました。ご飯を食べたりかくれんぼで遊んだりしました。英語で自分の意見を言うことに自信がついてきて、これまでで一番多くの人と交流できた1日でした。



今回の体験を通して、自分の視野が広がり、“外国”という存在が身近に感じられるようになりました。また、10日間という限られた時間の中で、多くの新しい経験をし、そこから得た学びが自分を大きく成長させてくれたと感じています。特に、英語で自分の意見を伝えることへの抵抗感が減ったように感じます。はじめは間違えることに恐怖心を抱き、自信をもてませんでした。でも、多くの人と交流する中で、間違えることは怖くないと思えるようになり、自分の知っている単語や文法だけでも十分に相手に伝えられることに気づきました。そして、英語でコミュニケーションをとれるのが楽しく思えてきて、最後には自分から話しかけることもできるようになりました。今後、英語で自分の意見を伝える機会が増えると思うので、この経験を活かしたいです。また、この貴重な経験を周囲の人に伝え、日本とアメリカのつながりがより深まるきっかけを作っていきたいです。

最後に、私が今回この事業に参加し、貴重な経験をすることができたのは、多くの方々のご協力のおかげです。この事業に携わってくださった皆様、そして私を支えてくれた家族に心より感謝いたします。



# ブルーミントン市派遣の報告

福重 龍之祐

RYUNOSUKE FUKUSHIGE

僕は、和泉市の代表として、姉妹都市であるアメリカ・ミネソタ州のブルーミントン市に行きました。そこで、たくさんの貴重な経験をすることができました。ここでは、その中で特に印象に残ったことを紹介したいと思います。

まず、ブルーミントン市に行って一番びっくりしたことは、毎年夏に道路のタイルを張り替えているということです。日本では、道路工事は古くなったときや壊れたときにしか行われないとと思っていたので、最初にその話を聞いたときは本当に驚きました。そのおかげで道路はとてもきれいで、車も走りやすそうでした。インフラにたくさんお金をかけているのだなと感じました。しかし、道路を張り替える時期は渋滞が発生するそうで、便利さと不便さの両方があることも学びました。

次に驚いたのは、ブルーミントン市には高校が2つしかないと聞いたことです。僕は最初「そんなに少ないの？」と思って驚いたのですが、日本に帰ってきてから和泉市のこと調べてみると、実は和泉市には高校が3つしかないことがわかり、「あまり変わらないな」と思いました。日本とアメリカでは規模や文化が違っても、意外と似ている部分もあると気づきました。

また、時間の感覚にもびっくりしました。ブルーミントン市の夜8時ごろの空は、日本の夕方5時くらいの明るさで、全然夜だとは思えませんでした。時計を見るまでは「まだまだ夕方だろう」とと思っていたのに、時計には夜8時と表示されていて、時間感覚がマヒして混乱したような、とても不思議な気分になりました。



ブルーミントン市と和泉市には似ているところもありました。どちらも自然が多く、人々が優しくて、都会と田舎が混ざったような「トカイナカ」なところが似ています。ブルーミントン市には山は少ないので湖や川が多く、和泉市には湖や川は少ないので山が多い、という違いもあります。そのため、ブルーミントン市では釣りや水辺の遊びが盛んで、遊ぶための道具もたくさん売っていました。一方の和泉市では山登りや自然散策ができるので、環境は違っても自然と一緒に過ごせるところが共通していると感じました。



さらに、ブルーミントン市の人たちはとてもフレンドリーで、誰に対しても分け隔てなく接してくれました。困っている人を助けたり、気軽に声をかけたりする姿が印象的でした。僕もホストファミリーや現地の方たちにとても親切にしてもらい、安心して生活することができました。

ブルーミントン市の良いところとして、まず挙げたいのは「Mall of America」です。ここは世界最大級の超巨大ショッピングモールで、歩くだけで気が遠くなりそうなほど広かったです。中には見渡す限りのお店だけでなく、室内に遊園地までありました。ジェットコースターや急流すべりなどの乗り物があり、中でも横に回転しながら走るコースターや、直角に上がってから急降下して縦に一回転してから捻るジェットコースターはとてもスリルがあり面白かったです。室内なので高さはそれほどありませんでしたが、すごく楽しかったです。

また、「Target」という大型スーパーにも行きました。そこには食品コーナーやおもちゃ売り場はもちろん、スマホを契約できるスペースまであり、日本のスーパーとは全然違うスケールの大きさに驚きました。さらに「アジアンモール」という場所にも行き、日本のラムネや日本米、納豆、味噌汁などが売っていました。ラーメンやビビンバなどのアジア料理のお店やアニメショップもあり、日本の文化が海外でも高く評価されていることを再認識できとても誇らしい気持ちになりました。

今回の10日間の留学で、僕は英語力が大きく伸びたと感じています。先日、学校の英語でのプレゼンテーションの時間に堂々と発表でき、クラスで上位に選出され自信につながりました。この10日間は、僕にとって忘れられない経験になりました。話す言語は英語で車道と運転席が左側という日本とは正反対の環境で、毎日新鮮な気持ちで過ごすことができました。

最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった和泉市の皆さん、ブルーミントン市姉妹都市委員会の皆さん、そして温かく迎えてくださったホストファミリーに心から感謝しています。僕はこれからもこの経験を忘れずに、英語力の向上に努め、世界で活躍できるような人材になりたいです。



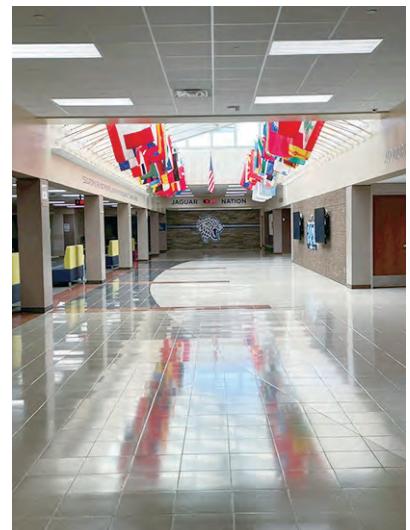
# ブルーミントン市で感じたこと

村上 優芽

YUME MURAKAMI

私はこのたび、和泉市の交換留学事業に参加し、8月7日からの10日間、アメリカ合衆国ミネソタ州ブルーミントン市を訪問しました。人生で初めてアメリカへ行くということもあり、期待と同時に大きな不安もありましたが、現地での体験を通して多くの学びと発見があり、忘れられない時間となりました。

ブルーミントン市に到着して初めて訪れた場所はブルーミントン市役所でした。ブルーミントン市の市長をはじめ、職員や関係者の皆さんのが笑顔で迎えてくださり、私たちをとても温かく受け入れてくれました。市役所の中や刑務所、消防署内を案内してくださり、様々な説明をしてくださいましたが、英語での説明は、言葉をすべて理解することはできませんでした。ですが、地域の人々が自分の住んでいる町、働いている町を大切に思っていることは強く伝わってきました。自分の住む町のことを誇りに思う姿に感動し、日本に帰ったら私も地元の良さをもっと知りたいと感じました。



滞在中はホストファミリーの家で過ごしました。最初は英語がほとんど聞き取れず、どう答えたらよいのか分からなくて困ることもありました。しかし、ホストファミリーはゆっくり話してくれたり、ジェスチャーを交えて説明してくれたりして、だんだんと会話ができるようになりました。カレーと一緒に作ったり、休日に近くの公園へ出かけたりした時間はとても楽しく、英語が上手に話せなくても心が通じ合えるのだということを実感しました。特に、笑顔や「ありがとう」といった小さな言葉が相手に気持ちを伝える大切な方法になることを学びました。

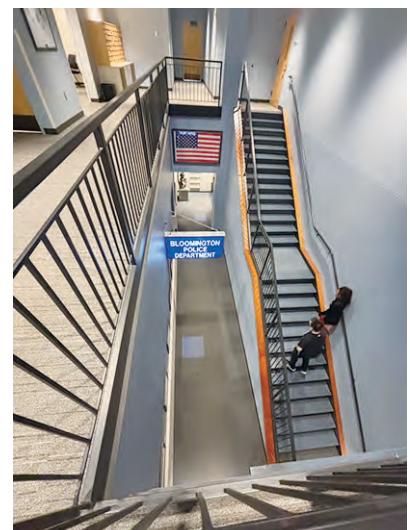
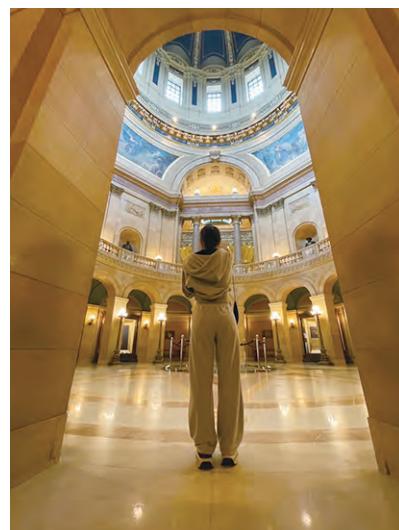
訪問した中でも、遊園地はかなり印象に残っています。アメリカで行った遊園地では、日本ではありません見ることのないアトラクションやお菓子などが売っていてたりして、とても楽しめました。例えば一回転するジェットコースターや、ストローに入れて買うお菓子などがありました。日本でもこうしたアトラクションやお菓子が広がればいいなと感じました。



一緒に行った交換留学生とショッピングモールへ行ったときは、とっても大きなサイズのポテトチップスやいろんな味のキャラメルなど、商品の大きさや種類の多さに驚きました。日本との違いを目の前で体験できることは刺激的で、同時に日本の便利さや良さにも気づかされました。違う文化の中で生活してみることで、自分の国の特徴を客観的に考えるきっかけにもなり、とても有意義な時間を過ごせました。

10日間という短い時間でしたが、言葉が通じないからこそ工夫することや、相手を理解しようとする気持ちの大切さを学びました。英語がもっと話せるようになりたいという思いも強くなり、帰国後は勉強への意欲が高まりました。また、文化や考え方方が違っても、人と人とのつながりは変わらないということを実感しました。

今回の交換留学で得た経験は、これから私の大きな支えになると思います。今後は、国際交流の楽しさを友人や家族にも伝えながら、自分自身もさらに成長していきたいです。最後に、このような機会を与えてくださった市の関係者の皆様、一緒にブルーミントン市へ行った交換学生の皆、ブルーミントン市の皆様、そして温かく迎えてくれたホストファミリーに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





ブルーミントン市長 Tim Busse 氏をはじめとするブルーミントン市の方々と



令和7年度和泉市交換学生派遣事業報告書

発行日：令和8年（2026年）1月

発 行：和泉市教育委員会

編 集：和泉市教育委員会生涯学習部生涯学習推進室

住 所：〒594-8501 和泉市府中町二丁目7番5号

電 話：0725-99-8161（直通）

FAX：0725-41-0599

